

COMET

ST-402

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメット S T 402 電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、SS シリーズと ST シリーズ電源部をベースに、シンプルにまとめたスタジオ設置タイプの電源部です。ポートレートスタジオから集合スタジオに適した電源部です。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

● AC コード	1.5 m	1 本
● アースコード	0.8 m	1 本
● ヒューズ	ストロボ用	5A 1 本
	モデリングランプ用	5A 1 本
● 取扱説明書		
● 保証書		

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1 ~ 4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6 ~ 9
4. 操作手順	10 ~ 12
5. 出力バリエーター	12
6. モデリングランプモード	13
7. サウンドモード	13
8. フォトセル	14
9. 不発光警報	14
10. ヒューズ交換	15
11. 保証とアフターサービス	16
12. 仕様	17

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

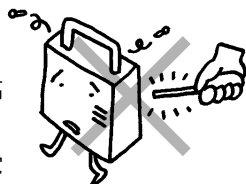


- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



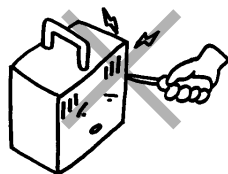
- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

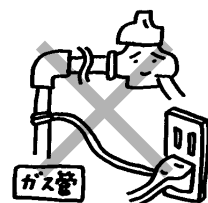
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、AC コードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V (50/60Hz) です。異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。急激に大電流が流れ、スパークによる火傷、発火の恐れがあります。

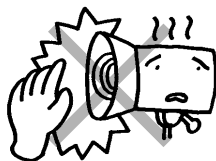




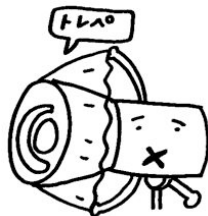
注 意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



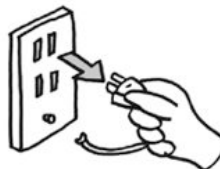
- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



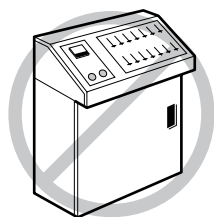
2 使用上のご注意とお願い

■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力を FULL にして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。



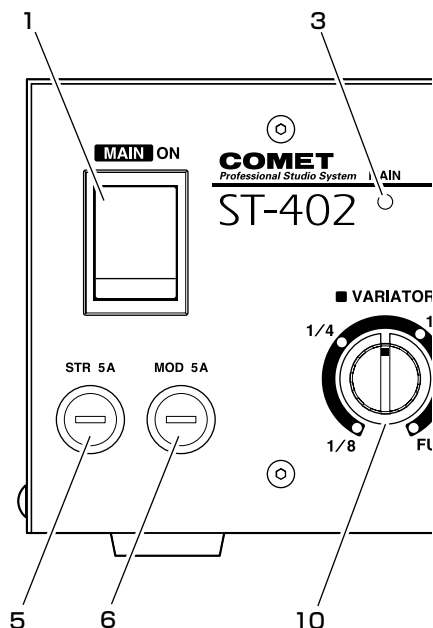
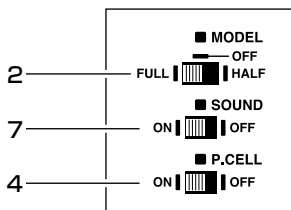
■赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

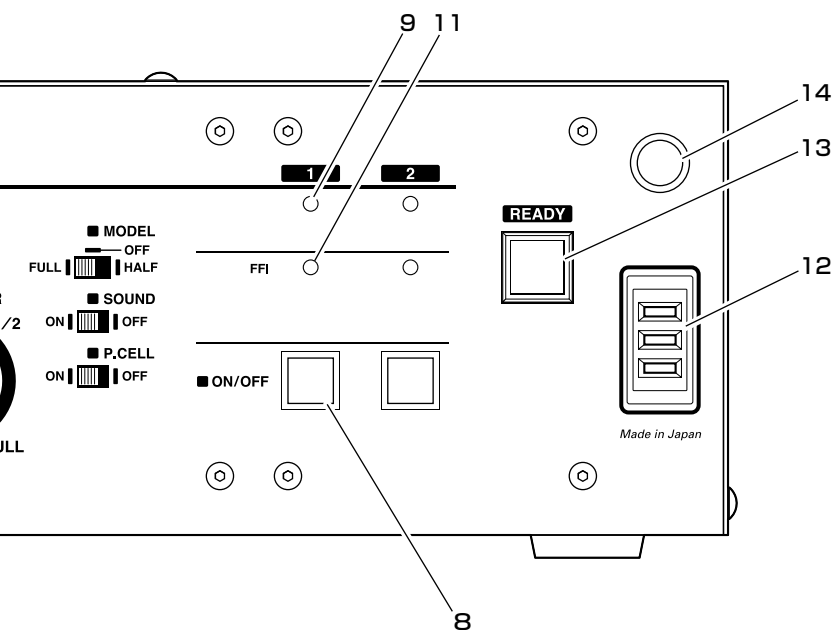
■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチです。	10
2 モデリングランプスイッチ (MODEL)	使用しているすべてのモデリングランプを一括で「FULL」「HALF」または「OFF」にします。	13
3 AC パイロットランプ (MAIN)	通電されているとき、点灯します。	10
4 フォトセルスイッチ (P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光をさせるとき「ON」にします。	14
5 ストロボヒューズ (STR)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	15
6 モデリングランプヒューズ (MOD)	モデリングランプ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	15
7 サウンドモードスイッチ (SOUND)	「充電中音」または「OFF」を選択します。	13

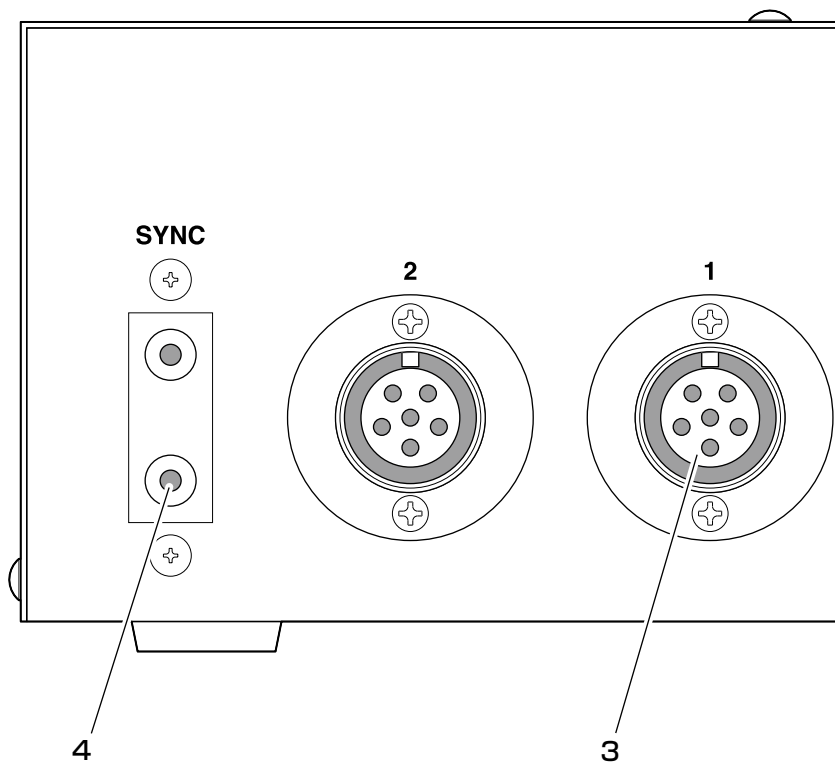


名称	はたらき	参照頁
8 各灯スイッチ①②	各出力を「ON」または「OFF」にします。	10
9 各灯表示①②	各灯スイッチが「ON」のとき、点灯します。	10
10 出力バリエーター(VARI)	出力をFULL～1 / 8まで無段階に調光します。	11
11 不発光警報表示(FFI)①②	不発光が生じたときは点滅し、ブザーが鳴ります。	14
12 シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード(別売)でカメラと接続します。	12
13 レディーランプ(READY) ／テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。	11
14 フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	14

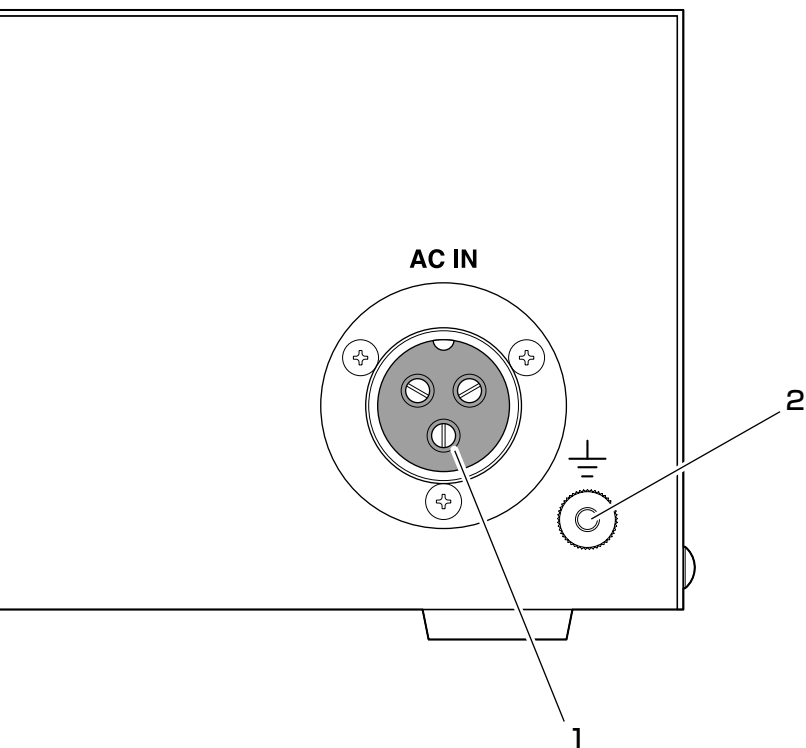


3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 AC入力コネクター (AC IN)	付属のACコードで電源部とコンセントを接続します。	10
2 接地端子(アース)	感電を防止するため、必ず接地してください。	



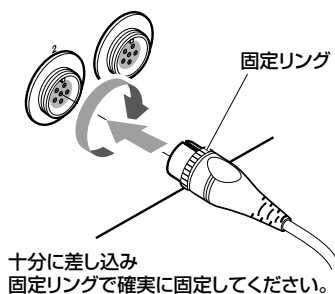
名称	はたらき	参照頁
3 出力コネクタ①②	ヘッドを接続します。 着脱時はメインスイッチを「OFF」にして、ACコードをコンセントから抜いてください。	10
4 シンクロ端子 (SYNC)	電源部間を接続します。 また、シンクロを外部に取り出すときに使用します。	



4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部に接続します

使用するヘッドのコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。



■ 2. AC コードを接続します

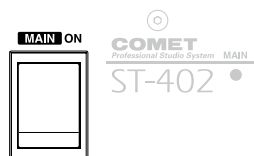
ACコードをACコネクターへ接続します。十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。電源部のメインスイッチが「OFF」になっているのを確かめてから、ACコンセントに接続します。

●必ずアースの接続をしてご使用ください。

■ 3. メインスイッチを「ON」にします

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

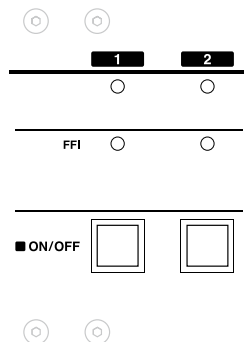
ACパイロットランプ (MAIN) が点灯し、充電が開始します。



■ 4. 各灯スイッチを「ON」にします

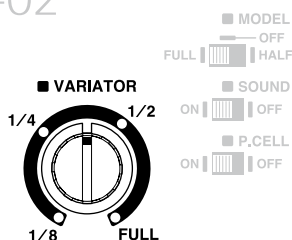
使用するヘッドの各灯スイッチを「ON」にします。

各灯表示ランプが点灯します。



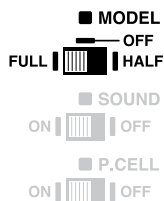
■ 5. 出力バリエーター (VARIATOR)

出力バリエーター (VARIATOR) は、ストロボ出力を FULL から 1 / 8 までを調光します。



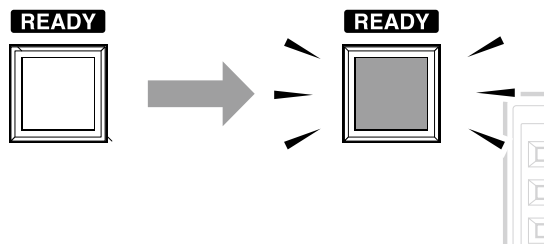
■ 6. モデリングランプモードを選択してください

モデリングランプを使用するときはモデリングモードスイッチを「FULL」「HALF」のいずれかにします。



■ 7. 充電の完了

充電が完了するとレディーランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯して発光準備が完了します。



■ 8. テスト発光をします

レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

4 操作手順

■9. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコード（別売）でカメラと接続し、カメラでのシンクロ発光テストをしてください。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルム、もしくはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ（同調）テストをされることをお勧めします。

【ご注意】

- カメラ、またはレンズに M / X 接点があるときは、必ず X 接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 ～ 1/30 で使用してください。
- カメラによっては、シンクロ接点に極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、使用してください。

5 出力バリエーター

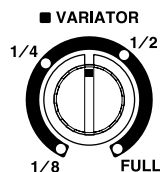
出力バリエーター（VARIATOR）は、ストロボ出力を FULL から 1 / 8 までを調光します。

■出力バリエーター（VARIATOR）を下げたとき。

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げて内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値までは下がりにません。この場合、一度発光させてください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。

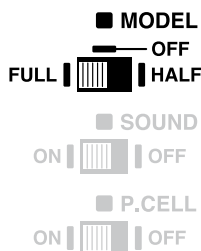
■出力バリエーター（VARIATOR）を上げたとき。

設定された出力値まで自動的に充電が行われますので、発光操作は必要ありません。この場合、レディーランプがいったん消灯し、充電完了すると再点灯します。



6 モデリングランプモード

モデリングランプスイッチ (MODEL) で、モデリングランプの点灯モードを、「FULL」、「HALF」または「OFF」を選択します。



7 サウンドモード

充電状況をサウンドで知らせます。

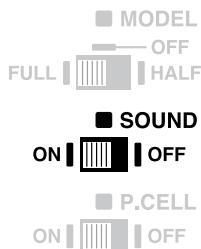
■ ON

充電サウンドは充電中に断続音のブザーが鳴り、充電が完了するとブザーが止まり、レディランプが点灯します。

■ OFF

充電状況を確認するためのブザー音を止めます。

● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

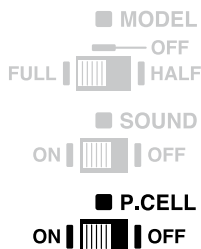


8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。

【お願い】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を50cm以上離してセットしてください。他のストロボ光を受けず、不発光になることがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてください。



9 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、プザーが鳴り、該当する不発光表示 (FFI) ランプが点滅し、どの出力コネクタに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

充電完了前に発光操作を行ったときも、警報がでます。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

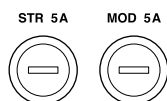
■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。
また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除できます。

10 ヒューズ交換

ヒューズ交換はメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。

該当するヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズと同じ定格のヒューズと交換してください。



	ヒューズ定格
STR	5 A
MOD	5 A

11 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のもを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。


12 仕様

品 名	ST-402 電源部
型 式	ST-402
定 格 電 圧	AC100V±10% 50/60Hz
ヒューズ定格	ストロボ 5A モデリング 5A
充 電 時 間 (秒)	2.5(50Hz)／2.0(60Hz)
最 大 出 力 (Ws)	400
出 力 灯 数	2
出 力 配 分	均等出力
ストロボ調光方式	1 回路無段階電圧調光
ストロボ調光範囲	FULL～1/8(3EV)
出 力 表 示	出力バリエーター目盛り
モデリング定格	250W 2 灯
モデリングランプモード	FULL／HALF／OFF
テスト発光スイッチ	あり(レディーランプ兼用)
シンクロソケット	フロントパネル CX タイプ(3PBF)× 1 リアーパネル ピンジャックタイプ × 2
フ ォ ト セ ル	内蔵(スイッチ付)
サウンドモード	充電中音／OFF
各 灯 ス イ ッ チ	あり
不 発 光 警 報	該当する FFI 表示点滅とブザーによる連続音 ※充電完了前に発光操作をすると警報が出ます
寸 法 (mm)	250(w)×105(h)×223(d)
重 量 (kg)	2.85

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 なお、この仕様は 2007 年 3 月現在のものです。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

<p>愛情点検</p> 	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気をを感じる ●その他の異常や故障があるとき 	<p>このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。</p>
---	--	---

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社／〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 TEL.03-3264-8621 FAX.03-3264-8624
Eメール mail@comet-net.co.jp インターネットホームページ <http://www.comet-net.co.jp>

札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.011-561-2488	FAX.011-563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.022-727-6521	FAX.022-727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野2-16-20	TEL.03-5245-3831	FAX.03-5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市中区江波西1-7-16	TEL.052-735-9077	FAX.052-735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06-6536-0671	FAX.06-6536-4020
広島営業所	〒730-0051	広島市中区江波西1-7-16	TEL.082-293-0075	FAX.082-293-0076
福岡営業所 営業課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092-411-1202	FAX.092-411-1209
東京営業所 コマーシャル課	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8625	FAX.03-3264-8628
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.06-6536-1667	FAX.06-6536-4020
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.092-411-1254	FAX.092-411-1209
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8622	FAX.03-3264-6385
産業機器部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.03-3264-8692	FAX.03-3264-8627
ストロボクリニック部 本部	〒135-0023	東京都江東区平野2-16-20	TEL.03-5245-3834	FAX.03-5245-3836